

# やまぐちっ子学力向上だより

第124号 R5.2.21

山口県教育庁義務教育課

## ～ 課題を課題のままにしない「DASH」～

「やまぐちっ子学習プリントDASH」の活用をお願いしていますが、各学校で取組は進んでいますか。「課題を課題のままにしない」取組にしていくポイントは、次の3点です。

- ① 教師と子どもが、「何のために取り組むのか」という目的意識を共有すること（表紙に記載）
- ② 解法のポイントを捉えて丁寧な指導をしていくこと
- ③ 子どもが何度も取り組む場を設定すること

子どもが「わかる喜び できる楽しさ」を味わい、自信を付けていくためには、わたしたち教師が解法のポイントを的確に捉え、丁寧に指導を行うことが大切です。学びの成功体験を積み重ねることは、子どもの自己実現につながります。

今回は、英語科の指導のポイントについてお伝えします。力を合わせて取組を推進していきましょう。



## はじめて見る英語の文章を読む力を伸ばすために

### 第2回（全3回） 英語科の指導のポイント「DASH」

◆ はじめて見る英語の文章を読み、要点を捉えることが苦手な子どもへの指導  
調査問題の誤答を分析した結果、山口県の子どもには、次のような傾向があることがわかりました。

- ・文章の特定の部分にのみとらわれて解答してしまう
- ・意味のわからない単語があることで、読み進めることを止めてしまう

この課題を解決するためのポイントを挙げます。

- ポイント**
- ① 文章全体を読んで、大切な部分を捉えさせる読み方を指導する。
  - ② 生徒の気づきを生かしながら指導する。

- ① 大切な部分を捉えさせるためには？
  - ・ 筆者の伝えたいことは何かを予想させる。
  - ・ So, Therefore, In conclusion など結論等を表す語句に着目させる。
- ② 生徒の気づきを引き出すためには？
  - ・ 各段落の1～2文に書かれていることについて生徒とやり取りをする。
  - ・ ペアで「5W1H」について質問し合いながら読ませる。



大切なのは、教師が一文ずつ解説しながら文章全体の理解につなげるのではなく、生徒自身で読み進め、要点を捉えることができるようにすることです。課題を課題のまま残さず、めざす資質・能力を確実に育成し、次の学年に進級・進学させることが、わたしたち教師の役目です。

第3回（全3回）は算数・数学科の指導のポイント「DASH」です。